

## 平成28年度 医動物・種類同定検査のまとめ(4～6月)

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

平成28年4月から6月の種類同定検査件数は、4件でした。内訳は昆虫類3件(チョウ目1件、カメムシ目1件、ハエ目1件)、その他1件(糞様物質及び昆虫片)でした。

主な検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
家屋のベランダ、外壁に複数の毛虫が付着している	 幼虫、黒褐色、約7mm	ヤネホソバ (チョウ目)	背中のこぶにはたくさんの毒のとげがある。刺されると痛く、発疹ができる。関東地方では年3回の発生で、蛹で越冬する。幼虫は屋根がわらや板塀などに生じたコケ類に発生する。
玄関先に多数の虫がみられる	 幼虫、黒緑色、2mm	ソラマメヒゲナガアブラムシ (カメムシ目)	ソラマメ類(カラスノエンドウ等)に寄生する普通種である。春から初夏に多く、寄主植物の茎や葉裏に寄生し、コロニーは大きく、活動的である。
マンション5階部分にコバエが大量に飛来する	 成虫、黒色、2mm	クロバネキノコバエの一種 (ハエ目)	幼虫は植物質、動物質を食する。雑食性で、土中の腐植物中で成育するもの、キノコを食するものなどがある。生息場所は主に屋外であるが、油粕などの有機肥料を施した植木鉢からも発生することがある。
天井から落ちてきた木くずの中に糞のようなものがみられた	 糞様物質、黒色、1mm		複数の昆虫片と糞様の物質をみとめた
	 複数の昆虫片		